

# Illustrator® Quick Master

ver1

## 2024 補足版

バージョン 28.1 (2023 年 12 月リリース)

- ・ 当補足版は、Adobe® Illustrator® 2024 (バージョン 28.1) ユーザーがテキスト「Illustrator® クイックマスター (2023 対応)」を使用した場合の操作内容及び操作説明を補足するものです。
- ・ テキスト「Illustrator® クイックマスター (2023 対応)」は、Adobe® Illustrator® 2023 (バージョン 27.7) に対応しています。

	バージョン	リリース	対応テキスト	
Illustrator 2023	27.0	2022年10月	Illustrator クイックマスター (2023対応)	2024 補足版 (P1)
	27.1	2022年12月		
	27.2	2023年1月		
	27.3	2023年2月		
	27.4	2023年3月		
	27.5	2023年4月		
	27.6	2023年5月		
	27.7	2023年6月		
	27.8	2023年7月		
	27.9	2023年9月	Illustrator クイックマスター (2023対応)	2024 補足版 (P1,P4,P6)
Illustrator 2024	28.0	2023年10月		
	28.1	2023年12月	Illustrator クイックマスター (2023対応)	2024 補足版

※当補足版は、Adobe® Illustrator® 2024 (バージョン 28.1)、Windows 10、mac OS ver12.6 の環境で制作しています。

## ■ P.6 (Adobe Fonts の使い方)

手順  
番号

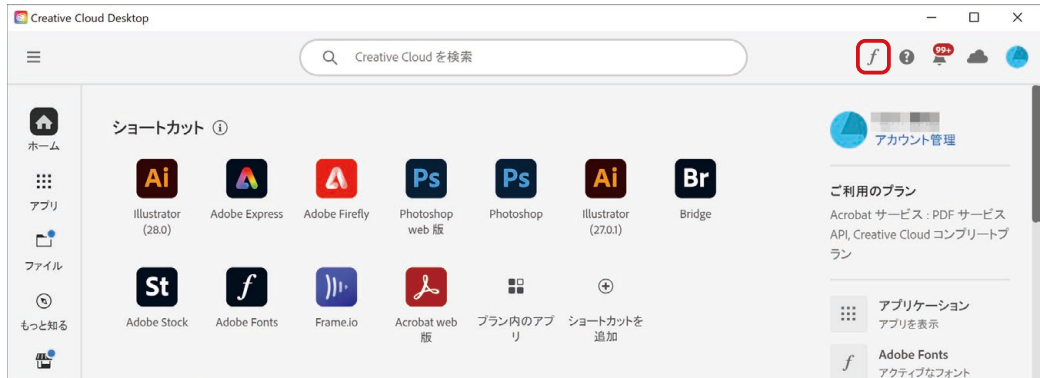
(2023)

(2023/2024)

- 1 Creative Cloud デスクトップアプリケーションを起動し、左のサイドバーで【フォントを管理】を選択します。



- Creative Cloud デスクトップアプリを起動し、右上の【フォント】ボタンをクリックをします。



手順  
番号

(2023)

(2023/2024)

- 2 【別のフォントを参照】をクリックします。



- 【別のフォントを探す】をクリックします。



手順  
番号

(2023)

(2023/2024)

- 3 ブラウザが起動し、[Adobe Fonts] が開きます。検索ボックスに使用したいフォント名を入力して検索するか、サイドバーにあるフィルターを使って使用したいフォントを探し、【ファミリーを表示】をクリックします。



- ブラウザが起動し、[Adobe Fonts] が開きます。検索ボックスに使用したいフォント名を入力して検索するか、サイドバーにあるフィルターを使って使用したいフォントを探し、【ファミリーを追加】をクリックします。



4

フォントのファミリーのページが表示されたら、使用したいフォントの「アクティベート」をクリックします。フォントがアクティベートされます。  
以下のフォントをアクティベートしてください。

- ・「小塚明朝 Pro」
- ・「小塚ゴシック Pro」
- ・「小塚明朝 Pr6N」
- ・「小塚ゴシック Pr6N」



**「アドビアプリに追加されたフォント」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックします。**

以下のフォントをアクティベートしてください。

- ・「小塚明朝 Pro」
- ・「小塚ゴシック Pro」
- ・「小塚明朝 Pr6N」
- ・「小塚ゴシック Pr6N」

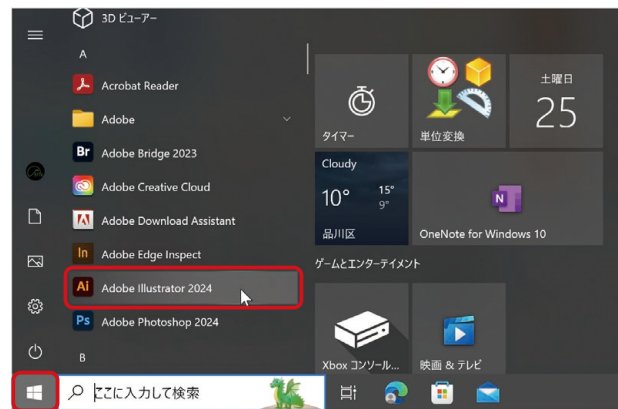
## ■ P.8 (1 Illustrator の起動 (Windows))

1

「スタートメニュー」から「**Adobe Illustrator 2023**」を選択し、Illustrator を起動します。



「スタートメニュー」から「**Adobe Illustrator 2024**」を選択し、Illustrator を起動します。



「スタート」メニュー

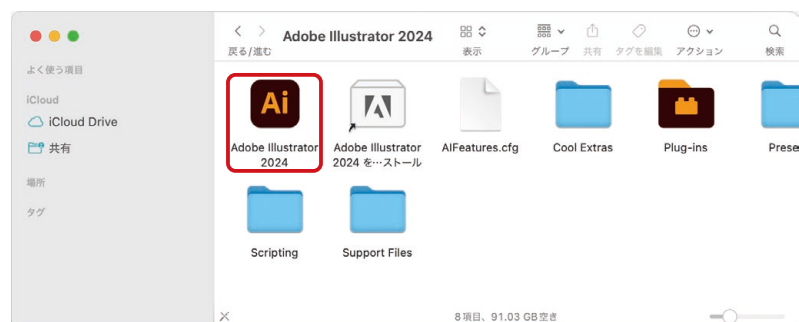
## ■ P.9 (2 Illustrator の起動 (Mac))

2

「**Adobe Illustrator 2023**」フォルダー内の「**Adobe Illustrator 2023**」をダブルクリックし、Illustrator を起動します。



「**Adobe Illustrator 2024**」フォルダー内の「**Adobe Illustrator 2024**」をダブルクリックし、Illustrator を起動します。



「Adobe Illustrator 2024」フォルダー

■ P.24 (7 保存と別名で保存)

新規ドキュメントを保存するときだけでなく、コンピューターに保存されているドキュメントを別名で保存する場合も、コンピューターに保存するか Creative Cloud に保存するかを選択するダイアログが表示されます。

手順  
番号

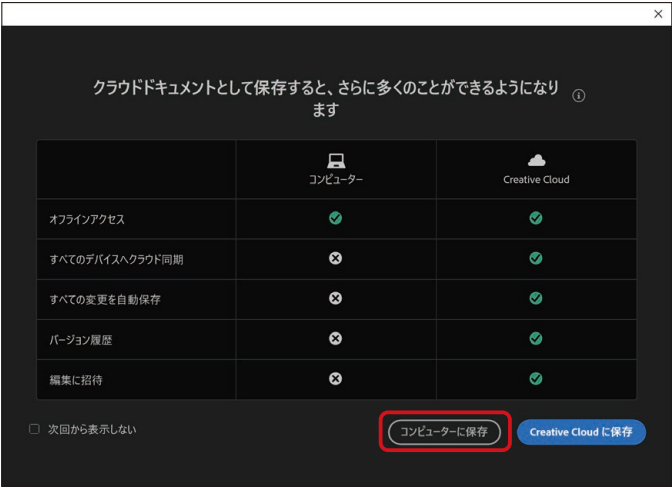
(2023)

(2024)

3 コンピューターに保存されているファイルを別名で保存する場合は、[別名で保存] ダイアログが表示されます。



「クラウドドキュメントとして保存すると、さらに多くのことができるようになります」というダイアログが表示され、コンピューターに保存するか、クラウドに保存するかを選択することができます。ここでは、[コンピューターに保存] をクリックします。  
[別名で保存] ダイアログが表示されます。

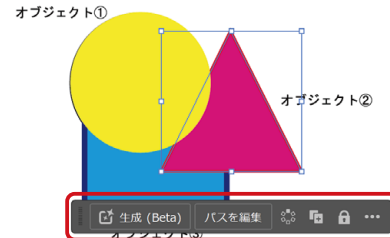


## 【新機能 1】 コンテキストタスクバー

Illustrator 2023（バージョン 27.9）から、選択したオブジェクトの下にコンテキストタスクバーが表示され、選択したオブジェクトに対してよく使用する操作をすばやく実行できるようになりました。

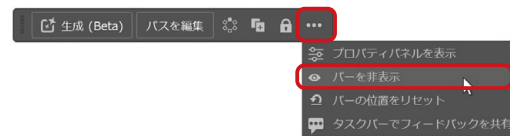
### IllustratorQM ▶ 第 1 部 ▶ Chapter1 ▶ C1111.ai

- ペンツールや長方形ツールで作成したオブジェクトを「選択ツール」で選択します。  
すると、オブジェクトの下にコンテキストタスクバーが表示されます。



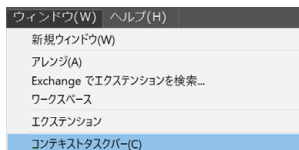
コンテキストタスクバー（パスオブジェクト選択時）

- コンテキストタスクバーの「…」をクリックし、「バーを非表示」を選択します。  
コンテキストタスクバーが非表示になりました。



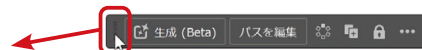
コンテキストタスクバーを非表示

- 再度、コンテキストタスクバーを表示してみましょう。  
メニューバーから「ウィンドウ」－「コンテキストタスクバー」を選択します。



コンテキストタスクバーが表示されました。

- コンテキストタスクバーの左端をドラッグして、コンテキストタスクバーを移動してみましょう。

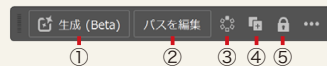


ドラッグしてコンテキストタスクバーを移動

## Point コンテキストタスクバーの種類

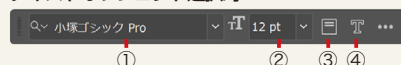
コンテキストタスクバーは、選択しているオブジェクトの種類によって内容が異なります。

### パスオブジェクト選択時



- ①テキストからベクター生成
- ②「ダイレクト選択ツール」へ切り替え
- ③メニューバーの「オブジェクト」－「リピート」の実行
- ④オブジェクトを複製（同じ位置に複製されます）
- ⑤オブジェクトをロック

### テキストオブジェクト選択時



- ①フォントファミリーを設定
- ②フォントサイズを設定
- ③エリア内文字とポイント文字の切り替え
- ④テキストをアウトライン化

### 複数のオブジェクト選択時



- ①テキストからベクター生成
- ②オブジェクトを再配色（生成再配色）
- ③オブジェクトをグループ化またはグループ解除
- ④メニューバーの「オブジェクト」－「リピート」の実行
- ⑤オブジェクトを複製（同じ位置に複製されます）
- ⑥オブジェクトをロック

### 画像選択時



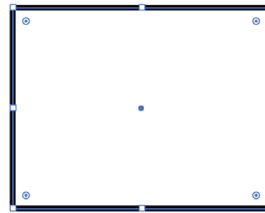
- ①画像をトレース
- ②画像をマスク（画像のサイズでクリッピングマスクを作成）
- ③リンクを再設定（リンクパネルを表示）
- ④Photoshop で画像を編集

## 【新機能 2】テキストからベクター生成 (Beta)

Illustrator 2024 (バージョン 28.0) から、Adobe の生成 AI「Adobe Firefly」を使用し、テキストを入力するだけでイラストやアイコン、パターンなどのベクター画像を生成できるようになりました。生成したベクター画像は編集することもできます。

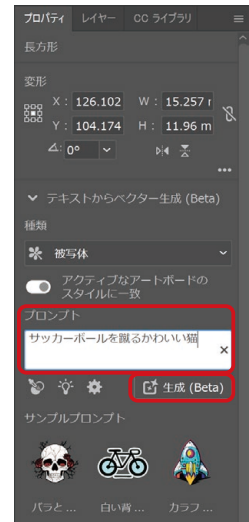
1 新規ドキュメント (A4 縦) を作成してください。

2 [長方形ツール] を選択し、アートボード上のベクター画像を生成したい場所に、長方形を作成します。



ベクター画像を生成したい場所に  
長方形を作成

3 [プロパティ] パネルの [テキストからベクター生成 (Beta)] の [プロンプト] に、生成したい画像をテキストで入力し、[生成 (Beta)] ボタンをクリックします。(ここでは、「サッカーボールを蹴るかわいい猫」と入力しています)  
(初めてテキストからベクター生成 (Beta) を使用する場合は [アドビアプリの生成 AI] の画面が表示されるので、[同意する] ボタンをクリックします)



[プロパティ] パネルのプロンプトに  
テキストを入力

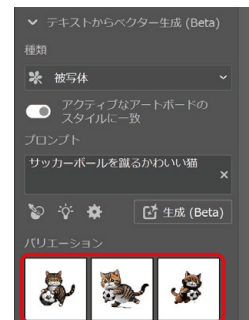
4 アートボードに作成した長方形の位置に、ベクター画像が生成されました。



生成されたベクター画像

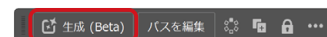
[プロパティ] パネルの [バリエーション] には、3つのバリエーションが表示されます。アートボード上のベクター画像を選択した状態で、[プロパティ] パネルの [バリエーション] に表示されたサムネイルをクリックすることで、ベクター画像を変更することができます。

再度 [生成 (Beta)] ボタンをクリックすると、さらに 3つのバリエーションを追加することができます。



[バリエーション] からサムネイルを選択

テキストからベクター生成 (Beta) は、コンテキストタスクバーの [生成 (Beta)] ボタンや、メニューバーから [ウィンドウ] - [テキストからベクター生成 (Beta)] を選択することでも利用できます。



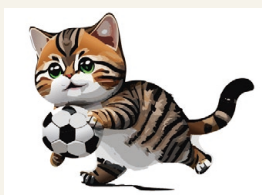
コンテキストタスクバーの [生成 (Beta)] ボタン

### Point ベクター生成の種類

[プロパティ] パネルの [テキストからベクター生成 (Beta)] の [種類] では、目的に応じて次の4つを選択することができます。

#### 被写体

背景なしのベクター画像を生成します。キャラクターなどを生成するのに適しています。



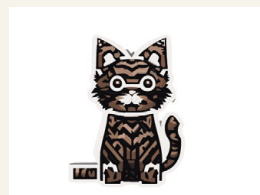
#### シーン

背景を含むベクター画像を生成します。風景などを生成するのに適しています。



#### アイコン

アイコンやマークなどのシンプルなベクター画像を生成します。



#### パターン


規則的な模様を生成します。





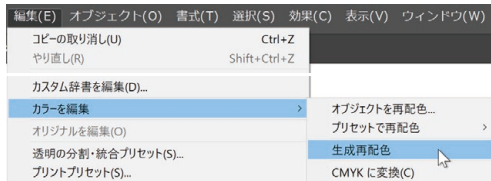
## 【新機能 3】 生成再配色

Illustrator 2023 (バージョン 27.9) から、Adobe の生成 AI「Adobe Firefly」を使用した「生成再配色」で、アートワークの配色を変換できるようになりました。

 **Illustrator 2024 hosoku ▶ ilShinkinou3.ai**

1 ベクターで作成されたアートワークを選択します。(ここでは、[テキストからベクター生成 (Beta)] で生成したベクター画像を使用します)

2 メニューバーから [編集] - [カラーを編集] - [生成再配色] を選択します。



編集前のアートワーク

3 [生成再配色] の画面の [サンプルプロンプト] の [ダークブルーの真夜中] をクリックします。(初めて生成再配色を使用する場合は [アドビアプリの生成 AI] の画面が表示されるので、[同意する] ボタンをクリックします)  
[バリエーション] に夜のイメージで再配色された 4 つのサムネイルが表示されました。

[バリエーション] から、任意のサムネイルをクリックします。  
アートワークの配色が変換されました。



【サンプルプロンプト】の  
[ダークブルーの真夜中] を選択



【バリエーション】から  
サムネイルを選択

4 次に、プロンプトを使用して再配色をしてみましょう。

[生成再配色] の画面の [プロンプト] にテーマや感情、色調などをテキストで入力し、[生成] ボタンをクリックします。(ここでは、「ノスタルジック セピア」と入力しています)  
[バリエーション] に入力したテキストから再配色された 4 つのサムネイルが表示されました。

[バリエーション] から、任意のサムネイルをクリックします。  
アートワークの配色が変換されました。

生成再配色は、コンテキストタスクバーの [再配色] ボタンをクリックして表示されるパネルで、[生成再配色] を選択することでも利用できます。



【プロンプト】にテキストを  
入力して再配色



再配色したアートワーク

## 【新機能 4】 ReType (2023：フォントの再編集)

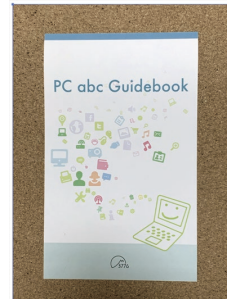
Illustrator 2023（バージョン 27.6.1）から、ラスター画像やアウトライン化されたテキストで使用されているフォントを識別し、編集可能なテキストに変換できるようになりました。（2023 ではコマンド名やインターフェースが異なります。なお、現時点では日本語は対応していません）

 **Illustrator 2024 hosoku ▶ ilShinkinou4.ai**

1 配置されたラスター画像を選択し、メニューバーから[書式]－[ReType (Beta)]を選択します。



[ReType (Beta)] パネルが表示されます。  
(初めて Retype を使用する場合は、[ReType (Beta)] パネルの下部にあるダウンロードアイコンをクリックし、[ダウンロード] ボタンをクリックして編集機能をインストールします)



アートボードに配置したラスター画像



[Retype (Beta)] パネル  
Retype の編集機能をダウンロード

2 ラスター画像から検出されたテキストの周囲に点線が表示され、[ReType (Beta)] パネルには、選択されたテキストに類似するフォントの候補が表示されます。任意のフォントを選択して、[適用] ボタンをクリック（または、ラスター画像上のテキストをダブルクリック）します。

適用するフォントがアクティブ化されていない場合は、アクティブ化されます。

ラスター画像上に他にも Retype を適用するテキストがある場合は、ラスター画像上のテキストを選択し、同様の操作を行います。



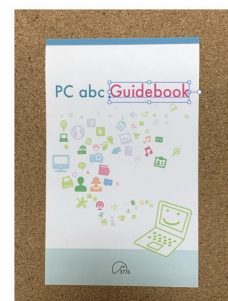
ラスター画像上のテキストを選択



Retype を適用するフォントを選択

3 ラスター画像のテキスト部分が編集可能なテキストに変換されました。  
ラスター画像とテキストはグループ化されているので、グループ解除してテキストを任意に編集してみましょう。

Retype は、ラスター画像上のテキストだけでなく、アウトライン化されたテキストを編集可能なテキストに変換することもできます。



Retype されたテキストを編集

※ Windows 環境の Illustrator 2024（バージョン 28.1）において、「Retype」が使用できない不具合が報告されています（2023 年 12 月現在）。Adobe 公式サイトをご確認ください。



## 【新機能 5】スムーズスライダー

パスを滑らかにする場合、[スムーズツール] (P.158) ではパスを繰り返しドラッグする必要がありますが、Illustrator 2024 (バージョン 28.0) から追加された「スムーズスライダー」を使用すると、スムージングレベルをコントロールして、すばやくパスを滑らかにすることができます。

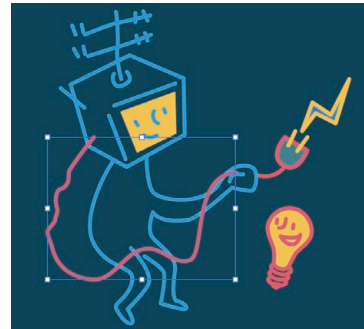
 **IllustratorQM ▶ 第 2 部 ▶ Chapter5 ▶ C2518.ai**

1 [選択ツール] で、滑らかにしたいパスを選択します。

2 メニューバーから [オブジェクト] - [パス] - [スムーズ] を選択します。



スムーズスライダーが表示されました。



滑らかにしたいパスを選択

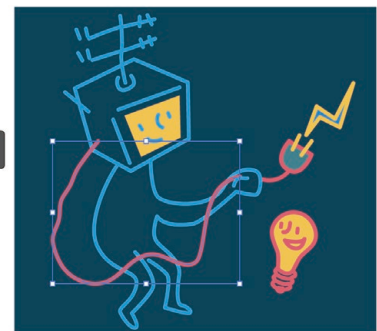
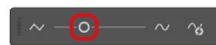


スムーズスライダー

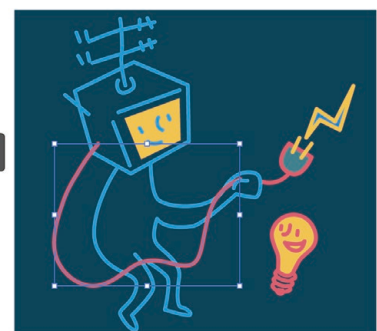
3 スライダーを右へ動かしてパスを滑らかにしてみましょう。

設定後、パスの選択を解除します。

パスの一部を滑らかにするには、[ダイレクト選択ツール] を使用して滑らかにしたい部分のアンカーポイントを選択し、スライダーを右へ動かします。



スムーズスライダーを 30% にした状態



スムーズスライダーを 60% にした状態